

事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	市民部 人権施策課 推進係 高田 聡子	評価責任者(担当課長)	人権施策課長 宮田 裕行
----------	---------------------	-------------	--------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	青少年会館管理運営事業	② 整理番号	02070103-002
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉	
	節	人権文化の創造	
	項	人権擁護の推進	
	号	推進体制の整備	
④ 関連する個別計画	大和高田市人権施策に関する基本指針	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	児童福祉法、大和高田市青少年会館設置条例、大和高田市青少年会館設置条例施行規則		

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	子どもたちの居場所として、遊びやスポーツ、文化活動を通して、個別的・集団的に指導を行うことにより、子どもたちのなかま意識を高め、豊かな感性を培い、人権を大切にする心を育てる。
② 対象 (誰・何を対象として)	幼児と保護者、青少年
③ 手段 (どのようなやり方で)	各施設において、日々の活動や子ども人権学習を実施し、なかまづくりを基盤として、平和・環境・障がい者問題など、子ども同士が人権について学んだり、自他を大切にしようとする力をつける学習や活動を進める。
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	子どもの個性や能力を生かす教育や遊びを充実させ、環境を整備する事で、心豊かで健やかな子どもを育てる。

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円、人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	13,687	12,596	12,317	43,622	(予算) 17,421
② 概算人件費	(12.70) 42,798	(12.45) 43,169	(13.09) 47,347	(12.83) 45,180	
(関与比率) 一般職員	(2.70) 19,794	(2.45) 19,213	(3.09) 21,797	(2.75) 19,437	
(関与比率) 嘱託職員	(10.00) 23,004	(10.00) 23,956	(10.00) 25,550	(10.08) 25,743	
(関与比率) 臨時職員					
③ 合計(① + ②)	56,485	55,765	59,664	88,802	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)					(当初予算)
⑤ 一般財源(③ - ④)	56,485	55,765	59,664	88,802	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 開館日数	年間開館日数(4館合計)	965 日	965 日	959 日	976 日
	②					
成果指標	① 利用者数	年間利用者数	13,592 人	13,713 人	13,110 人	11,718 人
	②					
効率指標	① 利用者1人あたりのコスト	事業費/年間利用者数	4,156 円	4,067 円	4,551 円	7,578 円
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	人権意識を身につけ、子ども同士の交流や世代間交流により規範的な社会モラルを身につけることができると共に余暇時間の有効な活用の推進を図る場を市が整備する必要がある。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	市だけではなく、学校・地域・家庭が一体となって事業を展開しており、子どもの人権に対する意識の向上に効果的に作用している。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	青少年の健全育成を図るための効果的、効率的な運営に心がけ、コストの削減を図っており、現時点でこれ以上の削減は難しい。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)